

●浜の話題 2024年祈大漁！

- 1月4日、横須賀市大楠漁協・葉山町漁協・鎌倉漁協・藤沢市漁協は、「湘南漁業協同組合」として合併し、19日に設立記念式典がありました。福本代表理事組合長、葉山副組合長兼藤沢支所運営委員長・角田副組合長兼葉山支所運営委員長・木村副組合長兼鎌倉支所運営委員長、利波参事が就任されました。福本組合長は「各浜の仲間と共に、漁業の発展を湘南の海から実現したい」と、決意を述べられました。



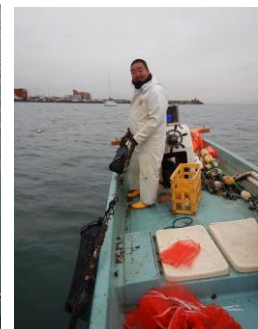
湘南漁協設立記念式典の様子

- 12月5日、水産技術センターは、トラフグについての研修会を開催しました。当センターからは「トラフグ採捕動向と東京湾における遊漁船による釣獲量試算」と「県産親魚を用いた種苗生産」について、千葉県水産総合研究センターからは「千葉県におけるトラフグの漁獲状況と標識放流試験」、(国研)水産研究・教育機構からは「標識追跡からみた北日本海域におけるトラフグの移動回遊事例の紹介と年齢査定を通じた地域特性の重要性」について説明がありました。当日は、今後新たにトラフグ延縄漁の操業を検討している鴨居や大磯地区の漁業者の参加もあり、熱心に聴講していました。



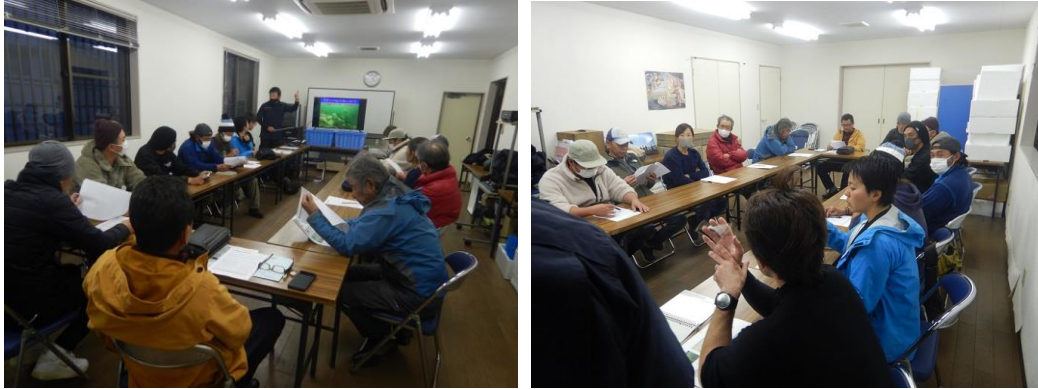
当センター研究員の講演の様子

- 12月5日、高水温や藻食性のアイゴやクロダイ等の食害により伸び悩んでいる海藻養殖に代わる新たな試みとして、中間育成種苗と牡蠣カゴを用いたマガキ短期養殖試験を、柴、金沢、田浦、安浦、浦賀、上宮田、金田、小網代、長井、小坪、鎌倉地区で始めました。種苗は平均で6cm 19.5gでしたが、5~7月には、100g以上への成長を期待しています。



牡蠣カゴ設置の様子(小坪 まさかり丸)

- 12月14日、茅ヶ崎市漁協では、漁業者が養殖わかめの沖出し作業を行いました。
- 12月15日、鎌倉漁協で、鎌倉漁業研究会勉強会を開催しました。当日は普及員が講師となり、「アオリイカ産卵礁」と「養殖ワカメの食害対策」について説明し、当地区でも今年5月から、アオリイカ産卵礁設置試験に取り組むことになりました。



勉強会の様子

- 12月15日、岩漁協及び真鶴町漁協の素潜り漁を営む漁業者は、岩漁協会議室にて藻場勉強会を開催しました。「聞き取り調査に基づく相模湾沿岸における藻場分布状況の推定」について、当センター企画研究部の研究員から話題提供がされたほか、今後の藻場造成活動についても協議しました。
- 12月19日は小坪と葉山町漁協で、26日は腰越漁協で、当センター研究員指導の下、アカモクと早熟カジメ種苗の種挿しを実施しました。同漁協地先では、磯焼けによりアカモクやカジメ、アラメ等の海藻が枯渇しており、育成したアカモクと早熟カジメを、成熟後増殖用の親株として用いるため、漁業者も期待を込めて種挿していました。



アカモクと早熟カジメの種挿しの様子 小坪(左)と腰越(右)

- 12月19日、20日、三和漁協城ヶ島地区の漁業者が、藻類を食害するアイゴの捕獲作業を行いました。泳ぐ姿はしばしば見えるものの、捕獲尾数は少なめでした。今年の捕獲作業はひとまず終了し、来春以降再開することです。



刺網で捕獲された魚

- 12月23日、平塚市漁協は、漁港を活用した藻場造成によるCO₂固定の実証実験として、平塚漁港内でワカメの養殖を開始しました。一般の参加者を募集し、5組の親子にワカメの種挿し体験と、11月に養殖を開始し成長しているカジメ、アカモク及びコンブの様子を見ていただきました。成長に伴う二酸化炭素の吸収を期待しています。

平塚市漁協による紹介 <https://www.jf-hiratsuka.org/2023/12/24>

- 12月25日及び1月8日、江の島片瀬漁協では、漁業者が養殖わかめの沖出し作業を行いました。また、水産多面的機能発揮対策事業の江の島・フィッシャーマンズ・プロジェクト（EFP）による活動

で、1月7日にワカメの種挿し体験のイベントを実施しました。

EFPの案内 <https://www.enoshima-fp.com/efp> の活動/体験学習/海藻シンポジウム/

- 12月25日、大磯二宮漁協は、新たに組合自営による小型定置網の操業を開始しました。同日にはアジ400kgほかタイ、ヒラメ、アオリイカ等も漁獲されました。漁獲された魚の一部は、不定期ですが、大磯港賑わい創出施設「大磯コネクト」で販売されます。

大磯コネクト <https://oiso-nigiwai.com/>

- 12月29・30日、三和漁協上宮田支所青年部は、同漁港内の地魚直売所で「年末どっとこいセール」を開催しました。当日は定置網や刺網の朝どれのスズキ、ヒラメ、マアジ、カワハギ、メバル、サザエ、ナマコ等が並び、好評の内に完売しました。次回は三浦国際市民マラソンに合わせて、3月3日に開催予定だそうです。三和漁協上宮田支所 <https://miurakaigan.web.fc2.com/>



開市直前の長蛇の列



三浦の朝どれ地魚は人気でした！

- 1月9日、かながわ県民センターにおいて、県漁連、神奈川県漁業士会、県の共催により、「新春漁業者交流大会」が開催されました。漁業士認定証書授与式の後、鈴木青年漁業士から「漁業士会の活動紹介」、当センター研究員から「トラフグ資源の動向と底延縄調査結果」と「神奈川県沿岸における藻場と磯根資源の現状」についての講演がありました。漁業者及び関係団体から137名の参加があり、盛況な大会となりました。



137名の参加があり盛況でした



漁業士認定証書授与式



左から漁業士会の活動発表、当センター研究員からの講演の様子

- 1月9日、かながわ県民センターにおいて漁業士会通常総会が開催され、令和5年度事業報告並びに収支決算、令和6年度事業計画並びに収支予算が協議され、承認されました。総会に先立ち、今年度新たに認定された青年漁業士3名と指導漁業士2名が紹介されました。また当日は役員改選があり、会長は引き続き蒲谷指導漁業士（蒲利丸）、副会長に鈴木青年漁業士（宏次郎丸）と藤原青年漁業士（ふじ丸）が選任されました。

- 1月10日、横須賀では、猿島近くで養殖される早どれの新芽わかめ（さるひめ）の出荷が始まりました。2月10日まで横須賀市内の十数件の飲食店で賞味することができます。「さるひめ」とは、横須賀市東部漁協の若手漁師と市内の飲食店経営者らで作るグループ「猿島海佃活性化研究会」が命名したもので、早獲りのため柔らかくしゃぶしゃぶで絶品とのこと。



さるひめ紹介ページ「よこすか猿麺」 https://www.facebook.com/sarushimawakame/?locale=ja_JP

- 1月15日、小田原市漁協青年部は、蓄養水面生け簀内に垂下していたアカモク養殖ロープの設置作業を行いました。すでに十分成長している株もあり、さらなる成長が期待されます。



生け簀から養殖ロープを取り出す様子



養殖ロープを設置する様子

● お知らせ

令和5年度漁業の人材確保・定着に向けたセミナーの開催について

県水産課は1月から2月に漁業協同組合職員や漁業経営者の方を対象として、漁業の人材確保・定着に向けたセミナーを開催します。次のURLから申込みが出来ますので、是非御参加ください。

<参加フォームURL> <https://survey.mynavi.jp/cre/?eng=%2fLj1HbWHU%3d>

こちらのサイト（右のQRコード）から申込みが出来ます。



<日程>

1/29(月) 14:00~15:00(13:30~受付) 相模湾試験場 会議室

1/30(火) 14:00~15:00(13:30~受付) 小田原市公設水産地方卸売市場 会議室

2月の日程（調整中）※予定が決まりましたら別途お知らせします

(問) 水産企画グループ 045-210-4542